

学園創立 70 周年記念号

学校法人日本福祉大学は2023年、学園創立70周年を迎えます。


 EL COMPAS
 えるこんぱす

 No.
 57
 2023.3.31

Contents

▶ 巻頭言	p1	▶ 連載シリーズ① 図書館からのお勧め本	p14
▶ 学園創立70周年記念特集	p2-3	▶ 連載シリーズ② 「図書館探検隊」	p15
▶ 図書館運営委員からのメッセージ	p4-7	▶ 図書館活用法	p16-19
▶ New! 図書館学生サポーターが聞く！	p8-9	▶ New! 図書館ダイアリー	p20
▶ 学生選書ツアー報告	p10-13		

巻頭言

これからの図書館の新たな役割

附属図書館長 亀谷 和史

図書館の歴史は古い。文明の始まりとともに、すでに図書館は存在した。紀元前7世紀のアッシリアには、また紀元前3世紀のアレクサンドリアには図書館があって、蔵書目録もつくられていたという。

有史以来、文字を発明した人類は、岩の壁、粘土板、竹や木、動物の革、布などにそれを記録していた。文字の使用は人類の知的遺産を時空を超えて飛躍的に拡大させた。周知のように、古代エジプトではパピルスという植物の茎の繊維が紙の代わりに使用された。パピルスは paper（紙）の語源としてよく知られている。紙の発明は、紀元前2世紀頃の中国・後漢時代のことで、その後西暦105年頃、蔡倫という役人が改良した製紙法を発明・普及させた。

時代は下り15世紀の半ば、ドイツの金細工師グーテンベルクが、活版印刷の技術を考案し、自ら印刷事業も行なって書籍を広めた。これがルネサンスや宗教改革、さらには近代科学の発展や近代国家の形成にも寄与した。そして産業革命、市民革命が起こり近代の民主的社會がヨーロッパから世界中に広がっていった。

このように人類は、紙と印刷技術の発明、書籍の普及によって、未曾有の「繁栄」を築いてきたともいえる。啓蒙の時代に図書館はおおいに貢献したことであろう。そしていつでも誰でも利用できる公共の施設として、知の創造と集積・保存の機能を果たしてきた。思い起こせば、かのマルクスも亡命先の大英図書館で『資本論』を書いた。

しかし、現代のデジタル社会では、紙媒体と印刷への依存が相対的に低下し、SNSが大いに普及しつつある。パソコンやスマホで情報のやり取りがおこなわれ、PCやタブレットさえあれば事足りるのである。そこで今日、図書館の役割も大きな変容を求められている。リアル（来館）とバーチャル（非来館）の両面において、図書館の活用が追究される時代である。本学図書館も、これまでの役割に加え、今や〈バーチャル図書館〉としての機能も構築しつつある。今後の更なる取り組みと発展に注目していただきたい。



学園創立70周年記念特集

学校法人日本福祉大学は2023年、学園創立70周年を迎えます。日本福祉大学は1953年の学園創立から30年後、名古屋市中の地から1983年に美浜キャンパスに移転し、同時に付属図書館が建設されました。付属図書館としても70周年を迎えることになります。

以下に大学のあゆみと付属図書館のあゆみをご紹介します。

沿革

▼大学のあゆみ

1953 中部社会事業短期大学開学

社会事業従事者の養成を目的に開学（名古屋市昭和区）。全国から集まった学生は83人、教員6人のささやかなスタートでした。



学園創立者 鈴木 修学（1902～1962）

昭和の初め、ハンセン病療養施設の運営改善に従事したことを契機に社会事業実践を開始。困窮する人々の救済に身を投じる社会事業従事者の不足を憂え、中部社会事業短期大学を開設しました。

夜間部を増設 保育者養成をスタート

保母（現在の保育士）養成課程を開設しました。

1957 日本福祉大学に発展 社会福祉学部開設

高度経済成長期を迎えて高まる社会福祉実践者へのニーズに応えるため、日本で最初の4年制の社会福祉学部を誕生させました。



伊勢湾台風における救助活動



死者・行方不明者5000人もの被害をもたらした伊勢湾台風。学生・教職員はいち早く被災者救援活動に立ち上がりました。

女子短期大学部保育科を開設 （～1996年）

大学院開設

経済学部を開設

「福祉を理解する経済人の養成」をめざして発足。より幅広い分野に福祉力を送り出す取り組みが始まりました。

美浜キャンパス開設

美浜町の全面協力のもと、バリアフリーや環境配慮の行き届いた広大なキャンパスが完成、総合移転を果たしました。



▼図書館のあゆみ

1953 附属図書館発足

初代館長は鈴木修学学長が兼務



1954

1957

日本福祉大学附属図書館に発展

1959

伊勢湾台風により1,600冊が浸水被害



1961

1965

図書館「慈昭館」竣工開館 一般公開開始

1969



1976

1983

新付属図書館（現在の美浜本館）開館 「慈昭館」の名を継承

1986

第1回 紙芝居コンクールを 図書館主催で開催

加太こうじ先生を審査員長として1994年まで続けました。



▼大学のあゆみ

▼図書館のあゆみ

阪神・淡路大震災における救援活動

1月17日早朝に発生した大震災に、延べ300人を超える学生が救援ボランティアに取り組みました。



半田キャンパス開設

半田市との公私協力方式により誕生。情報社会科学部を開設しました。

通信教育部を開設



名古屋キャンパス開設

健康科学部
子ども発達学部
国際福祉開発学部を開設

情報社会科学部を発展改組して健康科学部を半田キャンパスに、また子ども発達学部・国際福祉開発学部を美浜キャンパスに開設しました。

東日本大震災における救援活動

3月11日の震災直後から対策本部を設置して募金活動などを開始。災害ボランティアセンターを開設し、ボランティア派遣をスタートさせました。4年以上を経た現在も活動を継続しています。

創立60周年

東海キャンパス開設
看護学部を開設

スポーツ科学部を開設

子ども発達学部から
教育・心理学部に名称変更

創立70周年

1989

図書館増築部分開館
AVホール完成

1995

半田分館開館
同時に一般公開



1997

図書館ホームページ開設

2001

地域の中学校の職場体験学習受入開始

2002

2003

名古屋分館開館



2008

美浜本館に電動書架増設

2010

美浜町図書館と付属図書館とで相互協力に関する協定を締結
地域の高校生への施設開放を開始（美浜本館）

2011

2013



2014

創立60周年記念事業の一環として
美浜本館リニューアルオープン
ラーニングcommons開設
Silent. Quiet. Activeゾーン分け

2015

東海分館開館
同時に一般公開
東海市図書コーナー
等で東海市と連携開始



2017

2020

2022

図書館ホームページに
「学習支援ポータル」開設

2023

図書館運営委員からのメッセージ

～新入生へのお勧め本～

社会福祉学部教員 北村 育子

高校一年のときに、夏休みの宿題で読むことになった本です。筆者は日本初のノーベル賞受賞者で、その偉業を知らない人はいませんでした。とても面白く、一気に読みました。幼少期の漢文の素読、探求心に富む祖父や父、それぞれに研究者となった兄弟たち、理論物理に進んだ経緯、外国の著名な研究者たちとのライバル関係、などどれも興味深い話でした。幼少期の教育が果たす役割の大きさも、この本を通して知りました。素読のおかげで小学校に上がる頃には既に、読めない漢字はなかったそうです。読むことに不自由しないことで、関心を持った分野の知識を容易に得ることができると、兄弟のエピソードを通して語られていました。私は年に一回、博士の養家であった病院で胃の定期健診を受けます。病院の経営は既に一族の手を離れているようですが、待合室には、博士の几帳面な字の横物がかかっています。それを見るたびに、大学進学を目指していた頃のことを懐かしく思い出します。

お勧めする図書



『旅人』
湯川 秀樹 著
角川文庫 1960

知ってはいけない秘密を知ること

教育・心理学部教員 赤石 憲昭

ご入学おめでとうございます。大学生になられたみなさんは、たとえどの学部に入られたとしても、日本の政治や社会の動向について注視していく必要があります。選挙権が引き下げられたことはいうまでもなく、一人一人が自分たちの国や社会のあり方を考え、より良いあり方を追求していくのが民主主義だからです。そのためにも、最初はとっつきにくくても、日々、新聞やニュースに目を通し「続ける」ことが重要なのですが、その上でさらに、私たちが国や社会のあり方を良くしようとしても、それを阻む非常に大きな要因があることも理解しておく必要があります。それが、極めて特異な日本とアメリカとの関係です。みなさんの中には、うすうす「日本はアメリカの言いなり」だとお感じになられている人もいるかもしれませんが、その支配の構造がいかに根深いもので、私たちの生活を脅かすものか。それを変えるためにも、まずはそれを「知る」ことからスタートです。ちなみに第1章は「日本の空は、すべて米軍に支配されている」です。非常に衝撃的な内容が含まれます。覚悟ができれば、ぜひ手に取ってください。学生の皆さん、当たり前と思っていることに「なぜ」という問いを立て、その疑問を紐解く鍵を書物に求めてください。きっとその答えに近づく楽しさ、そして発見する喜びを味わえるはずです。

お勧めする図書



『知ってはいけない：
隠された日本支配の構造』
矢部 宏治 著
講談社現代新書 2017

スポーツはしなくていいもの？

スポーツ科学部教員 吉田 文久

本著は、東日本大震災で被災した子どもたちの体力、スポーツ活動はどうなっているのだろうか？ 新型コロナウイルス禍は子どもたちのスポーツ活動にどのような影響を与えているのだろうか？ かつては少年野球が盛んであったが、子どもたちが野球をしなくなってしまったのは何故だろうか？ といった疑問に対して、子どもの体力低下、若者の「スポーツ離れ」の原因を分析し、その解決策を探るヒントを提供してくれています。

さらに、東京オリ・パラを総括し、これまで注目されてきたスポーツ（サッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上競技、体操競技といったオーロルド・スポーツ）から、スケートボードやサーフィンといった新しいスポーツが脚光を浴びし、「e スポーツ」の導入の声が上がっていることを取り上げ、私たちが考えるべき「これからのスポーツ環境の課題」を指摘してくれています。

将来の社会を担う今の子どもたちにスポーツを通して夢を芽生えさせたいという願いをもって著されました。これから教育者やスポーツの指導的立場になる人にとって必携の書です。

お勧めする図書



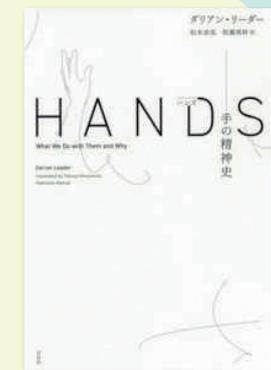
『スポーツをしない子どもたち』
田中充、森田景史 著
扶桑社新書 2021

私たちは手のしもべである？

健康科学部教員 田口 修

フランスの哲学者アンリ・ベルクソンは、道具のための道具を制作することや、制作に変化をこらしていく能力（創造性）が人の知性の本質であると指摘し、創造性を持つ人を Homo Faber（工作人）と述べています。つくり手と言われるように“手”は、ものや道具を手繰り寄せ、つくる人の意思をあらわし、技が生まれ、知恵を発現する場となります。しかし「私たちは手のしもべである」とは『ハンズ 手の精神史』の表紙にあります。この挑発的なコピーは決して大袈裟ではありません。著者のダリアン・リーダーは精神分析の専門家であり、本書では主に心理学や精神分析の理論を援用しつつ、日常や臨床の各所で見られる至近な出来事を取り上げ、コロナ禍の分裂、私たちの手を支配する iPhone、ゾンビが手を前に突き出しているのはなぜか、手放すことは掴むことより難しい愛着と喪失の問題等、縦横無尽に人間の文化や歴史に迫っています。ぜひ“手”をめぐる新しい読み方を“手”にしてください。

お勧めする図書



『ハンズ：手の精神史』
ダリアン・リーダー 著
松本卓也、牧瀬英幹 訳
左右社 2020

歴史と未来予測

—「歴史は繰り返さないが韻を踏む」

経済学部教員 橋口 徹

米国の作家マーク・トウェインが言ったとされる「歴史は繰り返さないが韻を踏む」という名言があります。これは、歴史上全く同じ事象が繰り返されることはないが、類似の事象は起き得ることを意味します。この言葉通り、最近、日本を含む世界情勢について、スペイン風邪から世界大恐慌を経てその後に至る100年近く前の歴史の流れに似てきたとの指摘が報道等で散見されます。もしそうであれば、我々は、今後未来がどうなっていくのか、その方向性を予測しつつ、過去の反省を踏まえ、実際にどのような備えをすればよいのか、個々人で考えていく必要があります。そのための多くの「知恵」を、先人が書き残した書物は与えてくれます。歴史は決して単に古臭い「過去の遺物」ではなく、そこから「未来予測」をするための新たな学びを喚起してくれます。今こそ情報の宝庫である図書館を活用しない手はありません。

学生にお勧めする図書

著者は元・国税調査官で、徴税のため課税対象のお金の流れを調査した経験を活かし、お金にまつわる多くの著作を発表しています。一般に歴史書は、過去の歴史的事象について記述し、その背景について、多くは主に政治や文化等の側面から説明されます。一方、この著作では、戦争など過去の歴史的事象の多くが、主にお金を理由に生じていたとして説明されます。古代から現在に至るまで、人類がいかにお金や富を求め、そのことがいかに世界の歴史を動かしてきたかを実感できることでしょう。

『お金の流れでわかる世界の歴史
富、経済、権力……はこう「動いた」』
大村 大二郎 著
KADOKAWA 2015

お勧めする図書



国際福祉開発学部教員 砂原 美佳

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今回紹介したい本は、調べ物の「プロ中のプロ」が書いた『調べる技術』という本です。大学生活の中では、レポートを書く機会が多くあります。疑問に思っても、その答えがない問題が世の中にはたくさんあるんだということに気付かされることもでてくるでしょう。本書はその疑問に全て答えてくれるわけではありませんが、調べ物のプロである国会図書館司書の方が何をどのように調べているのかを知ることができます。一度、本書を手取る前に「国会図書館レファレンス」の質問コーナーをご覧ください。Google検索などで全く分からなかった問題が司書さんの手助けで解決している事例をたくさん見ることができます。たとえばみなさんは、映画館で「全米が泣いた」という表現を見たり聞いたりしたことはありませんか。これは、誰がいつ言い出したのでしょうか。それを知りたいと思ったとして、何をどう調べますか。残念ながら単純な google 検索では知ることができません（答えが気になる方は、本書の調べ方を

参考にしてくださいね)。本書は、司書さんにしか使えない特別なツールを紹介しているわけではありません。私たちが普段使っている検索機能やデータベースを使っています。使い方を深く知っていれば活用の幅が大きく広がります。レポートや論文だけでなく、自身の学びの助けとして、本書をお勧めします。

『調べる技術：
国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』
小林 昌樹 著
皓星社 2022

お勧めする図書



患者さんに寄り添うとは？

看護学部教員 小笠原 ゆかり

今回紹介させていただく本は、10年程前に実習病院のオリエンテーションで、医院長から学生に紹介していただいた小説です。私はすぐにその本を購入し、実習の行き帰りの電車で揺られながら読みました。電車の中で初めて本を読んでいる時に涙がこらえられなくなり、涙しながら読んだ本です。

その本は『神様のカルテ』という小説です。著者は地域医療に従事されている医師夏川草介です。ドラマ化・映画化された小説ですので、多くの方がご存知かと思いますが、小説で読んでいただきたいと思い、今回紹介することにしました。

小説を読んでいくと、信州の医師栗原一止を中心に医師や看護師、患者とのやりとりの情景が目の前に現れてきます。医療者としてとても共感できる内容で、この小説を読むことで、日々の忙しさを理由に忘れかけていた、医療者を志した頃の思いや患者への向き合い方の原点に戻ることができます。

是非、この機会に読んでいただけたらと思います。

お勧めする図書



『神様のカルテ』
夏川 草介 著
小学館文庫 2011

図書館学生サポーターが聞く！

INTERVIEW

図書館学生サポーターが、今話を聞きたい人にインタビューする新企画。

第1回目は、本学社会福祉学部 伊藤文人（いとう ふみひと）先生にインタビュー。2022年度に「留学」をテーマにサポーター展示を行ったことから、イギリスに留学されたときのお話を伺いました。

なぜイギリスに留学されたのですか。

そこでは何を学びましたか。

本学社会福祉学部を卒業後、2000年から2002年にかけてイギリス国立サセックス大学大学院人文科学研究科（以下、サセックス大学）に留学しました。サセックス大学は、ロンドンから電車で約1時間の海辺の観光地（ブライトン）にあり、特に国際開発学では世界有数の研究機関です。ここに当時、イギリスの社会福祉史を専攻するパット・セイン先生（『イギリス福祉国家の社会史』ミネルヴァ書房）がいて、私の研究テーマ（イギリス労働者階級の福祉運動史研究）と近く進学しました。大学には世界中（100ヶ国以上）から留学生が集まっていました。

留学で印象に残っていることは何ですか。

大学院では、現代史コース（主に19世紀半ばから20世紀のイギリスを含むヨーロッパの政治、経済、社会、歴史などを学ぶ）を選択しました。

コース長との面談では、セミナー担当チューターを通じてセミナーで行うディスカッションテーマとそれに先立ち読まなければいけない文献リストを渡されます。面談が終わった途端、学生たちが一斉に立ち上がり、走り出しました。ドイツ人の留学生が「Fumi（伊藤先生），come on!」と叫んだので、「Where?」と聞くと、「Library! 図書館に行って本を借りなかったらセミナーについていなくなる」と叫んでいる（笑）。本を読んで予習しないと落第することを日本人以外の学生はほとんど知っていたのです。そこにまず驚きました。

図書館に行ってさらに驚いたのは、学生が文献を取り合っていたことです。チューターは、学部や大学院修士レベルの基本書（コア・アサイメント）から成る文献リストを作成しています。図書館はそれを受けて文献のコピーを20冊ほど並べたブースを別途設けているわけです。そこにある文献は2日間しか借りられないので、学生が殺到していたのです。文献リストにある議論のテーマに回答するため、さっと読んでまとめて返却することを繰り返すのです。

英会話よりも読解力が必要で苦労しました。セミナー期間中は、一日12時間以上勉強です（図書館で8時間、シェアハウスで4時間）。同居していたイギリ

profile



いとう ふみひと
伊藤 文人 先生
本学社会福祉学部教授
研究分野：社会福祉学

interviewer

濱井 理沙さん
社会福祉学部3年
野間 亜弥さん
経済学部2年

ス人の院生に「どうやってこのタスクをやったらいいか？」を尋ねると、「文献リストで要求されている量は、ネイティブでもできないから全部読むのは無理だ。そういう時は、何が重要な本なのかを周りに聞いて、そこから攻めろ」と言われました。図書館の本への書き込みは御法度ですが、多くの学生たちは重要なところにメモを書き込んでいました。それが英語を母語としない私にとってはわかりやすく、そこを中心に読み進めて内容を理解しました。また英文では、先に結論を書き、後に根拠を述べるので、段落の最初の1文を読んでいけば内容を予測できるようになります(スキミングという読書法)。このように繰り返し大量の文献を読んではセミナーでアウトプット(議論、プレゼン、レポート執筆)することが日常でした。

イギリスの大学はセミナーが中心で、科目も日本のように細分化されていません。学問ごとの知識を「覚える」のではなく、「理解する(understanding)」ことで、知識と知識をつなぎ合わせ統合的に研究対象を理解するスタイルです。私の授業にもこのスタイルを取り入れています。

多文化やグローバルな社会で、

外国の方と関わる時に大切にすべきことや心がけるべきことは何だと思いませんか。

相手が誰であれ、敬意を以て真摯に話を聞く姿勢をとることだと思います。例えば、同じ言葉を使っている、捉え方が真逆の国もあります。そういうことは長い歴史に根ざしているので、相手の国の歴史・文化に関心を持ち、知ろうとする努力が大切ではないでしょうか。

英語を話せるようになるコツや方法はありますか。

時間をかけて練習するしかありません。留学時は、ランゲージエクスチェンジ(母国語が違う人同士がパートナーになり、互いに言語を教え合うこと)の相手を大学でも斡旋してくれました。ネイティブの英語はスピードが早くてわかりづらいですが、英語を外国語として学んできた留学生同士の会話は意外と通じやすかったです。文法を気にせず、単語を並べるだけでいいのでガンガン話さないと言われました。子どもが読むような簡単な英語の本を読むことを積み重ねていくことでも、英語が読めるようになっていきますよ。



伊藤先生には、2時間にわたり貴重な留学体験談を伺いました。ありがとうございました！

(2023年1月取材)



図書館学生サポーター展示

「留学」

2022年後期に美浜本館で、図書館学生サポーターがセレクトした留学に関する本を展示しました。

留学のノウハウや海外の大学紹介、留学体験記、海外インターンシップの情報などに関する本です。

貸出できますので、ぜひ手に取ってみてください。

2022年度 「学生選書ツアー」を 開催しました!

「学生選書ツアー」は、学生みなさんに読んでほしい本を、本学学生が実際に書店で本を選ぶことで本学図書館の所蔵とする企画です。前期は9名がオンライン選書（計77冊）、後期は5名がオンライン選書、10名が直接書店に出向き選書を行い（計137冊）、各館で展示しました。今回は後期参加の15名の学生が選書した本を紹介します。



美浜本館展示風景

参加学生からみなさんへのメッセージ!



教育・倫理学部 2年

『腐女子の心理学』

腐女子だって心理学の卒論内容になる!

これは15個の腐女子に関する卒業論文のデータを、BL作品を読まない著者が再分析したものである。

- ・目次から気になる章だけを読むもよし。
- ・それぞれの研究のまとめだけ読むもよし。
- ・質問紙のデータから自分ならどう分析するか考えるのもよし。
- ・もちろん全部読んでよし。

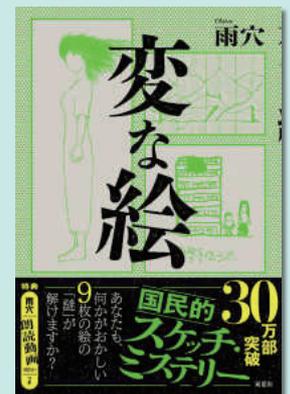
身近なところに卒論の題材があるのかもしれない。あなたの趣味も研究できるかも!?

山岡 重行 著 福村出版 2016

経済学部 4年

『変な絵』

いくつもの図絵を中心に、真相が紐解かれていくホラーミステリー小説です。不穏なブログ、塗りつぶされた部屋の絵、美術教師惨殺事件、そして、文鳥を守る木の絵…。様々な人物の視点から徐々に謎が明かされ、読めば読むほど続きが気になり手が止まりませんでした。地図や図表で定年に解説されているため、読書慣れていない方にもおすすめの一冊です。



雨穴 著 双葉社 2022



教育・心理学部 2年

『人形館の殺人』

主な舞台は人形館という屋敷です。物語は、この屋敷やその周辺で謎の脅迫や殺人事件が発生することで始まります。そして、これらは意外な結末を迎えますが、私はこの部分から対話の大切さを改めて学びました。このように、この本は私たちが何気なく行っていることの意味を考えさせられるのでお勧めします。

綾辻 行人 著 講談社 2010

健康科学部 1年



『祈りのカルテ 再会のセラピー』

2022年10月から放送されているドラマ「祈りのカルテ」の元小説です！医療ミステリーとなっていますが、殺人事件などは起きないためミステリー初心者でも読みやすいです。主人公が患者の謎を解き明かす、心温まるミステリーになっています。また、同作者の「天久鷹央シリーズ」から小鳥遊優や鴻ノ池舞といった人物も登場するのでそちらのファンにもオススメです！！

注：この本はシリーズ2作目のため、先に「祈りのカルテ」を読んでおくともより良いと思います。

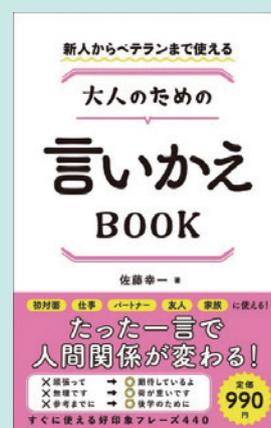
知念 実希人 著 KADOKAWA 2022

国際福祉開発学部 2年

『新人からベテランまで使える 大人のための言いかえ BOOK』

私はこの本を読んで、人に自分の意見・気持ちを伝えるためには、ただ単に日本語が伝わればよいというわけではないことに気がきました。自分と相手の立場、周りの状況を正確に判断し、誰が聞いても気を遣わせることなくやり取りができるようになりたいですね。

佐藤 幸一 著 総合法令出版 2022



経済学部 2年



『明日の自分が確実に変わる 10分読書』

10分でもいいから…本を読んでみませんか!?

あなたは最近読書をしていますか？1日10分から読書を始めることで習慣づいていきます、この本を読めば、読書の楽しみ方、読書をすることで得られることがわかります！

吉田 裕子 著 集英社 2020

教育・心理学部 1年

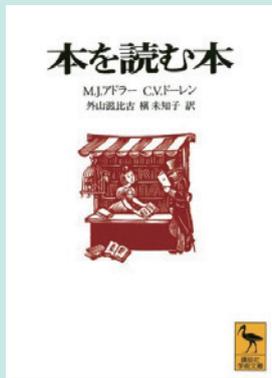
『スーパー手品』

「サークルの集まりで何かしないといけない…」 「イベントで何をすればいいのかわからない…」 そんな人たちにおススメ！イラスト付きでわかりやす〜い1冊。今までマジックをしたことがない人もある人も、この本を読めば簡単にできますよ！さあ、あなたも、Let's Magic ♪

花島 世津子 監修 高橋書店 2019



2022年度「学生選書ツアー」を開催しました!



経済学部 3年

『本を読む本』

「これは本を読むための本である。」

身近に本は存在する。

でも、本を読む術を教えられたのはいつだろうか？おそらく小学生の頃に音読を毎日行うことで身につけたのだろう。でも頭が働くようになってからの本を読む術は教えられただろうか？そもそも自身の本を読む術は正しいだろうか？と疑心暗鬼になっていないか？そのような人達に贈りたい本です。

M.J.アドラ、C.V.ドーレン 著 外山 滋比古、榎 未知子 訳 講談社 1997

子ども発達学部 4年

『きみはぱぱがすき?』

Instagramにて@tsumugitopan つむつむぱぱとして絵日記を掲載している2児の新米パパ(自己紹介欄より)

「もし将来、きみがパパのことを嫌いになったら、この本を読んでほしいな。」という心温まるイラストエッセイ。思春期の今、どうですか？

つむぱぱ 著 KADOKAWA 2018



子ども発達学部 4年

『あっち側の彼女、こっち側の私』

表紙が気になり読んでみたいと感じました。シンプルな表紙とは逆に、虐待、薬物、少年院といった言葉が並んでいるところが気になりました。読み進めていくと考えさせられることが多く、簡単な言葉では言い表せられない気持ちになりました。

結生の18年という人生の中で起こった出来事から、一人の人として接することの大切さを学ぶことのできる一冊でした。

結生、小坂 綾子 著 朝日新聞出版 2020

社会福祉学部 1年

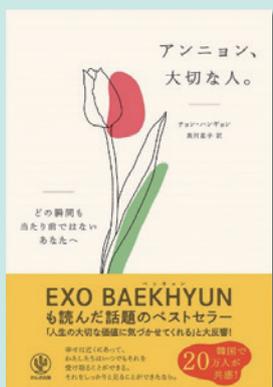
『めでたしめずらし瑞獣珍獣』

麒麟や鳳凰、霊亀、龍などの霊獣をはじめとした、白象、鶴、人魚、鹿、駱駝、猿といっためでたくてめずらしい動物(?)たちが大集合!!

P.126の「白澤図」やP.240の「旭潮鯨波図」、P.336の「白象黒牛図屏風」がオススメです!

内山 淳一 著 パインターナショナル 2020



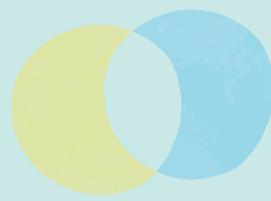


国際福祉開発学部 4年

『アンニョン、大切な人。』

あたり前のように、あたり前ではない「あなた」へ。「山頂の恥じらい」季羽、長く付き合っていくからほどよい距離感で生きているの。

チョン・ハンギョン 著 黒河 星子 訳 かんき出版 2022



看護学部 3年

『発達障害の人が見ている世界』

なんでじっとすることができないの？

なんでミスが多いの？

なんでルールを守れないの？

発達障害は「脳の特性」です。決して能力が低いわけでも、人間性に問題があるわけでもありません。不思議な考え方や行動には理由があるのです。どんな理由があるのか、本を読んで少し考えてみてくださいませんか？



岩瀬 利郎 著 アスコム 2022



経済学部 4年

『台湾の美味しいおみやげ』

この本は台湾の食べ物や飲み物に関するおみやげを集めた本です。老舗や人気店のものからスーパーに売っているものまで幅広く紹介されています。台湾についての記事を書いている有名なライターのオススメも紹介されています。おみやげの値段、量、売っている場所の地図もありガイドブックのような感覚で読むことができます。

台湾大好き編集部 編 誠文堂新光社 2019

社会福祉学部 3年

『晴れ、時々くらげを呼ぶ』

世界に対して反乱を起こしたい、迷惑を起こしたい、対抗したい。この一言はそれだけ重たい。物語の中では実在する小説がたくさん出てきて、読んだことない人もきっと読みたくなる。新しい本との出会いをこの本で。



鯨井 あめ 著 講談社 2020

図書館からのお勧め本

図書館から次の3冊を紹介します。ぜひ一読してみてください！
(貸出中の場合は予約ができます。所蔵以外のキャンパス所属の学生は転送予約ができます。)

『ポストコロナ期を生きるきみたちへ』

著者名：内田樹編 斎藤幸平 [ほか] 著
出版社：晶文社
出版年：2020年
請求記号：304/U14/

美浜
所蔵

半田
所蔵

中学・高校生を想定読者に20名の識者が贈るコロナパンデミック後を生きる若者へのメッセージ集…それが本書です。そのため若者に読んでもらえるようにとの工夫が随所にみられます。

まず、表紙が可愛いんです。多様な専門家が「専門用語」を使わずに執筆しているため、専門外の私でも手に取りやすい。20編の短い文章が1冊にまとめられていて興味ある分野だけを読むことも可能です。未知の分野への入門書としての役目も果たされるでしょう。

編者の内田氏は【まえがき】の中で「謝罪」という言葉を記されています。前の世代として「責務を果たし切れなかった」とことについて「ごめんなさい」と。中高生より内田氏に世代の近い私は、襟を正す思いでこの本を読みました。決して甘くはないですが、あらゆる世代の未来の扉を拓くための「知」の詰まった実りある1冊です。



『おいしく食べて体に効く！クスリごはん』 『おいしく食べて体に効く！クスリごはん おかわり』

著者名：ヘルシーライフファミリー編
出版社：リベラル社
出版年：2010年、2013年
請求記号：498.58/H53/1、498.58/H53/2

東海
所蔵



かぜやのどの痛み、疲労、胃痛、肌荒れ、ストレスなど、体調が悪いと感じた時、どんな食材を食べるとよいのか、マンガを交えて楽しく分かりやすく紹介しています。料理が苦手な方でも簡単に作れるレシピも満載！市販の薬やサプリメントに頼らなくても、食材の持つパワーで健康になれることを教えてくれる一冊です。

「図書館探検隊」

付属図書館設立70周年

福祉大コーナーにある付属図書館の歴史資料発見！

連載シリーズ「図書館探検隊」では、付属図書館にある知られざる意外なものを紹介していきます。今回は学園創立70周年記念特集として、本学付属図書館美浜本館の福祉大コーナーに所蔵する美浜キャンパス移転当時の付属図書館ガイドの紹介です。以下にその内容をご紹介します。

【1983年美浜キャンパス移転当時の付属図書館ガイド】



美浜キャンパス移転と同時に、付属図書館はキャンパスの中心に位置されました。また、旧中時代と比べ、面積で2.5倍、座席数で1.7倍、収蔵力で1.5倍と広くなりました。

新図書館は利用者とともに身体障害者の移動を考慮し、車イスで利用できる図書館として高層を避け2フロア方式としました。新たにグループ閲覧室や視聴覚室、休憩コーナーなどが設置され、幅広い図書館利用が可能となりました。

新図書館の施設の概要と特色

キャンパスの中心に
新図書館は建築にあたり様々な配慮や工夫がされていますが、その第一が図書館の位置です。キャンパス計画の中で、図書館は学生や教職員の熱心な中心的位置に建てられており、至らぬ環境を得てまさに研究・教育、学習のメッカと誇りにふさわしい場に位置しています。

広く明るく落ちついた雰囲気
新図書館は旧中時代比で面積で2.5倍、座席数で1.7倍、収蔵力で1.5倍とぐんと広くなりました。備品も目にやわらかな本製品を多く採り入れました。閲覧机は平机（6人用）の他に定型キヤレラ（4人用）、個人キヤレラも配置し、調剤の中にも変化に富んだレイアウトになっています。館内全体がアイガーテーションの色

暖か
調剤の中にも、明るく落ちついた読書空間がもたらされています。

高層を避けた2フロア方式
新図書館は利用者とともに身体障害者の移動を考慮し、高層を避け2フロア方式としました。そして、1階を主に学習ゾーンとし、2階を調査・研究ゾーンとし、1階には和・洋の単行本ならびに参考図書、新聞・一般雑誌コーナーを設け、2階には和・洋の学術雑誌・紀要、雑誌資料のコーナーを配置しました。また、2階には本学の特色あるコレクションである社会福祉資料コーナーも設けられています。

新たにグループ閲覧室を
新図書館には、旧中時代にはない種々の新たな機能が実現されました。学習誌で討論しながら学習できるグループ閲覧室をはじめ、ビデオ、オーディオ装置をもつ視聴覚室、マイク室、コピー室などを飲みながら談話を楽しめる休憩コーナーなどです。一段とゆい図書館利用が可能となりました。

車イスで利用できる図書室
新図書館は、身体障害者も利用書にも大変使いやすく構えています。車イスでも充分ゆとりある閲覧空間、エレベーター、身障者用トイレをはじめ、既式キヤ

1 階

2 階

社会福祉資料コーナー
コーナー、引付式ドームなどにも工夫が施されています。また、50年ほどにはオプスグループ（旧図書用紙大読書部）も設置される予定です。

すべての本が手にとれる全面開架式
新図書館の蔵方一つに全面開架式があります。これは、利用者が図書館のどこにでも自由に入り、本を直接手にすることができる方式です。これにより、特別文庫や雑誌のバックナンバーも自由に閲覧することが可能になりました。また、蔵書の管理にブックアクションを採用したことにより、ハンドブックなどの手荷物も自由に持ち込むことができるようになりました。

地域のみなさんに開放
新図書館は、地域のみなさんの利用を歓迎します。簡単な手続きで、誰でも隔から利用ができます。地域との密接な関係の中で、図書館の発展をはかりたいと考えています。

規 模		
構造	鉄筋コンクリート造2階建	延床面積 600坪
建築費	2,817,126円（税別）	収蔵能力 約25万冊

開 館		
開館時間	午前9時30分～午後9時30分	
休 日	日曜日、国民の祝日、本学創立記念日（4月8日）夏期・冬期休館中	
閉館時間	午後9時30分	
備 考	※そのほか臨時休館を断る場合があります。	

蔵 書		
蔵書総数	181,861冊	冊数
総冊数	142,898冊	冊数
洋書	38,702冊	洋書
雑誌	1,747タイトル	雑誌
和雑誌	1,402タイトル	和雑誌
洋雑誌	345タイトル	洋雑誌

図書館活用法

電子書籍の使い方

図書館ではMaruzen ebook LibraryとKinoDenの電子書籍が利用できます。

ここでは基本的な利用の流れについて紹介します。詳細はHPのマニュアルを参照ください。

Maruzen ebook Library

【重要なお知らせ】

- [学外の方へ] (2022年9月 [後期] →)
- 図書館利用案内 (2022年9月 [後期] →)
- 図書の郵送貸出・文献複写物の郵送対応についてのお知らせ (対象利用者：通学学部生)2022年4月1日から対応変更 (2022年4月1日→)
- 図書の郵送貸出・文献複写物の郵送対応についてのお知らせ (対象利用者：大学院修士課程・教員) (2022年4月1日→)

【学習支援ポータル】

日本福祉大学付属図書館 学習支援ポータル
につぶくLibナビ

●電子書籍 (Maruzen ebook Library) をクリック

データベース・国内論文・電子書籍検索

- CiNii Research (日本の論文・博士論文等を探す) → 初めての方はこちら (NIJのページへ)
- 図書館データベース → 初めての方はこちら
- 図書館リモートアクセスサービス → 初めての方はこちら
- 電子書籍 (Maruzen ebook Library) → 利用方法はこちら
- 電子書籍 (KinoDen) → 利用方法はこちら

お知らせ

図書館システムの緊急メンテナンスについて 2023/03/01(水) 10:50
雑誌部室のお知らせ (半田分館) 2023/02/27(月) 15:00
図書館DB「朝日新聞クロスサーチ」システムメンテナンスのお知らせ
2023/02/22(水) 14:00
第1集勤室室内の図書館クリーニング作業に伴う利用制限について
2023/02/17(金) 18:00
図書館DB「朝日新聞クロスサーチ」システムメンテナンスのお知らせ
2023/02/07(火) 11:25

開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

Maruzen ebook Library (MeL) について

【学内から利用】
※以下の内容について確認・同意します → Maruzen ebook Library スタート

【自宅等学外から利用】
※自宅等学外から利用の場合は、こちら
最初に「図書館リモートアクセスサービス」利用マニュアル記載の手順にそって学内IDでログインしたのち、以下の内容について確認・同意したうえで「Maruzen ebook Library スタート」をクリックしてご利用ください。

【注意事項 (重要)】
※重要な注意事項は、こちら

【注意事項 (重要)】
Maruzen eBook Library(MeL)をご利用いただくにあたっては、以下の点にご注意ください。

- MeLの利用規約の範囲内でご利用ください。
- 利用規約に違反する利用があった場合、当システムの利用が停止する場合がございます。
- 教料費としての利用はご容赦いたします。

「Maruzen ebook Library スタート」をクリック

本文閲覧やPDFをダウンロードする場合は、「購読契約しているタイトルから検索」に切り替えてからキーワードで検索

Maruzen eBook Library

お知らせ 10月18日 新着分野別カタログ (71種) ご覧開始のお知らせ 詳細は、こちらから

絞り込み

出版年

- 2022, 4
- 2021, 6
- 2020, 22
- 2019, 22
- 2018, 12
- 2017, 8
- 2016, 13
- 2015, 11
- 2014, 9
- 2013, 1

出版社/提供元

- 実業社, 18
- 中山書店, 16
- 中央法規出版, 8
- 建築資料研究社, 7
- 三輪書店, 6

簡易検索

検索: 全てのタイトルから検索 購読契約しているタイトルから検索

種別: 全てのコンテンツ PDF 紙上 動画

医療制度 書名 五十音順 (昇順)

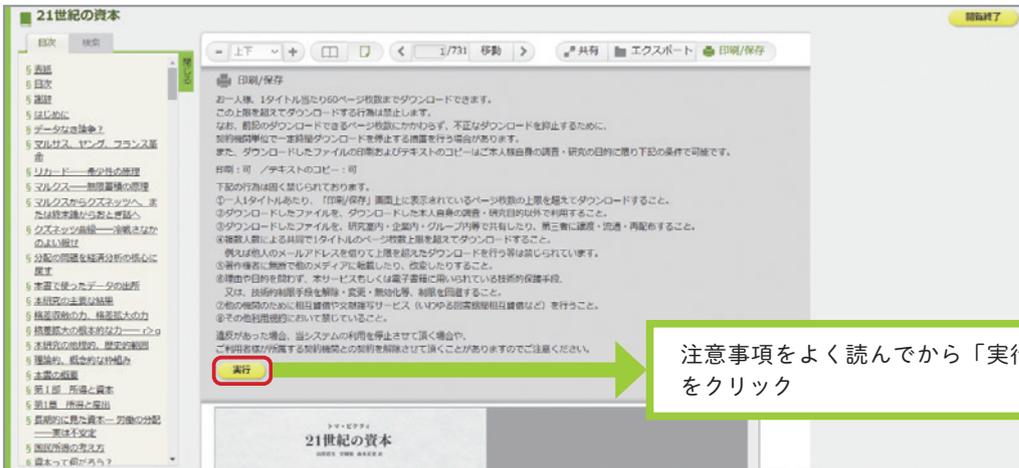
20世紀の東アジア史

21世紀の資本

ICLMOの理学療法

読みたい本が見つかったら「閲覧」をクリック

本文の PDF をダウンロードしたり印刷する場合は「印刷/保存」をクリック



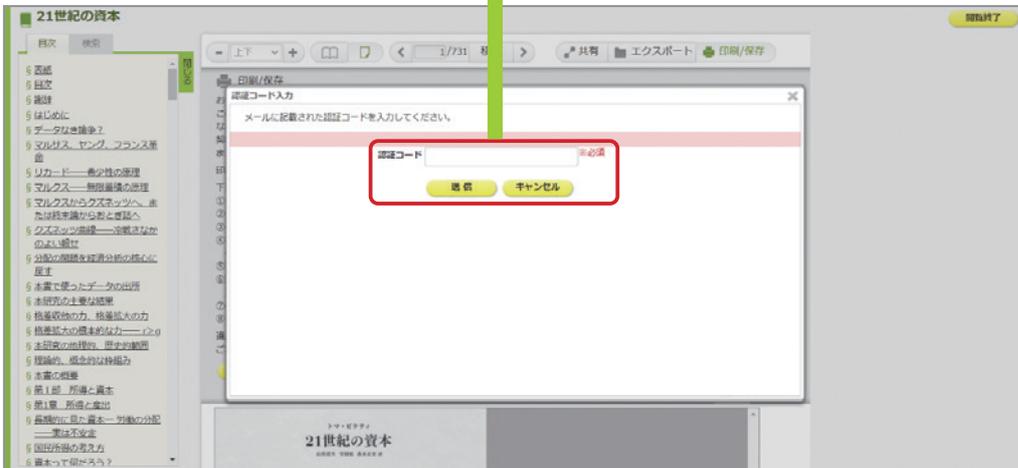
注意事項をよく読んでから「実行」をクリック



注意事項をよく読んで学内メールアドレス (~@n-fukushi.ac.jp) を入力し、利用目的、プライバシーポリシー等に同意のチェックボックスにチェックし「送信」をクリック

本人宛にメールが届きます

メール送信された認証コードを入力し「送信」をクリック



ページ入力して「実行」をクリック



パスワードを入力してください

このドキュメントはパスワードで保護されています。パスワードを入力してください。

.....

送信

送信されたメールに記載のパスワードを入力し「送信」をクリックすると本文PDFが閲覧・ダウンロードできます

【学習支援ポータル】
日本福祉大学付属図書館 学習支援ポータル
につぶくLibナビ

▶学生一人ひとりの学びを支援します

データベース・国内論文・電子書籍検索

- C/Nii Research (日本の論文・博士論文等を探す) → 初めの方はこちら (NIIのページへ)
- 図書館データベース → 初めの方はこちら
- 図書館リモートアクセスサービス → 初めの方はこちら
- 電子書籍 (Maruzen_ebook Library) → 利用案内はこちら
- 電子書籍 (KinoDen) → **●電子書籍 (KinoDen) をクリック**

開館カレンダー

2023年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ : 短縮期 10:00-20:30
■ : 休日閉館 10:00-16:50
■ : 休館

電子書籍KinoDenについて

【KinoDenとは】

- KinoDenは、紀伊国屋書店が提供する電子図書館サービスです。
- パソコンやタブレットから、またはスマートフォンからはbREADER Cloudアプリをダウンロードすることにより、KinoDenの電子書籍が利用できます。
- 未所蔵タイトルを高めた全文検索や、ほとんどのコンテンツは試し読みができます。

1. 学内のパソコンからKinoDenを利用する

本学図書館TOPページの ●電子書籍 (KinoDen) より利用できます。

●電子書籍 (KinoDen) を利用する

- KinoDen利用者向けマニュアルはこちら
- KinoDenの使い方 (ブラウザ編) 動画【日本語】はこちら(YouTube)
- KinoDenの使い方 (ブラウザ編) 動画【英語】はこちら(YouTube)

2. 自宅等学外のパソコンからKinoDenを利用する

図書館リモートアクセスサービスのページにリンクされている「利用マニュアル」を参照のうえ、ご利用ください。

利用マニュアルを参照のうえ
●電子書籍 (KinoDen) を利用する
をクリック

KinoDen
Keywords Digital Library

ヘルプ My本棚へ登録するにはサインインが必要です

レポート 書き方

検索

キーワードを入力し検索

「未所蔵を含める」のチェックボックスのチェックを外すと本文閲覧できる購入した電子書籍が利用できます

KinoDen
Keywords Digital Library

ヘルプ My本棚へ登録するにはサインインが必要です

レポート 書き方

未所蔵を含める

著者 出版社

フォーマット 合計10冊

出版形態

本文読み上げ可

印刷ダウンロード可

分類

指定なし

総記 (4)

電子 (0)

歴史 (0)

雑誌教育はいかにあるべきか
漢語方法と訳文印刷
二木忠
2005年04/19/4

雑誌教育はいかにあるべきか
漢語方法と訳文印刷
二木忠
2005年04/19/4

目次

ページの検索結果

閲覧開始

タイトル・書影をクリックすると内容紹介、目次画面に移行します

閲覧開始をクリックすると直接本文閲覧画面に移行します

2022年度に図書館が行った学修支援、その他の取り組みについて紹介します。

◎ 学修支援の取り組み

取り組み	時期	実施館	実施内容等
図書館利用セミナー	4月～1月	美浜・半田・東海	■ゼミ単位での図書館利用セミナー STEP1 基本編、STEP2 学修編、STEP3 論文編
	11月7日、14日	東海	■留学生対象セミナー 国際福祉開発学部「日本語」履修者（1年）対象
学修支援コーディネーターとの連携講座	6月2日	美浜	「『レポートの書き方』講座（レポートの基本を身に付ける）」
	11月10日	美浜	「レポート講座（中級編）ーレポートから卒論へ向けてー」
キャリア系講座等との連携講座	4月28日	東海	「就活のための図書館の活用について」
	9月9日	東海	「朝日新聞流『すらすら書ける文章術』就活に役立つ新聞の読み方講座」
	10月13日	東海	「図書館就活ガイダンス データベース活用術」
授業連携展示	6月～7月	半田	テーマ「テクノロジーと私たちの未来」
	9月～10月	東海	テーマ「看護技術（注射）」
	10月～	東海	テーマ「看護技術（バイタルサイン）」
	10月～12月	東海	テーマ「AI・仮想通貨 テクノロジーと私たちの未来」
	12月～1月	半田	テーマ「教員から学生へすすめたい本」展示 ※半田事務室・図書館共同企画
動画開発	2月～	東海	テーマ「はじめての看護実習（身だしなみ等の基本等）」
	9月～	美浜	レポート作成に関する動画開発（大学後援会助成事業）

◎ その他の取り組み

取り組み	時期	実施館	内容等
学生選書ツアー	5月24日～26日	美浜・半田・東海	Web 選書：参加9名
	11月7日～11日	美浜・半田・東海	書店訪問選書（11月10日 三省堂書店名古屋本店にて）：参加10名 Web 選書：参加5名
ハンドメイド体験会	10月24日	美浜	豆本作成。参加9名
ビブリオバトル	11月21日	美浜	参加者6名（社会福祉学部4名、教育・心理学部1名、国際福祉開発学部1名） 優秀賞 海音寺潮五郎著「平将門」 （教育・心理学部心理学科1年 吉本りんさん） 図書館賞 岸見一郎・古賀史健著「嫌われる勇気」 （国際福祉開発学部国際福祉開発学科4年 Huynh Thi Bich Nhu さん）
図書館コンサート	12月1日	美浜	美浜合奏研究会による演奏。参加65名
映画上映会	12月22日	東海	「戦場のピアニスト」を上映。参加2名
	12月20日、21日	半田	「黄泉がえり」を上映。参加のべ4名 ※主催：半田事務室、協力：図書館
学園・大学関連企画展示	6月1日～20日	美浜	テーマ「鈴木修学先生と中部社会事業大学の創立」(創立記念日関連企画)
	10月11日～17日	美浜・半田・東海	テーマ「防災・減災ーいのちとくらしをまもるためにー」(安全の日共催企画)



学校法人日本福祉大学は2023年、学園創立70周年を迎えます。

1953年（昭和28年）、日本福祉大学の前身である中部社会事業短期大学誕生

「この悩める時代の苦難に身をもって当たり、大慈悲心・大友愛心を身に負うて、
社会の革新と進歩のために挺身する志の人を、
この大学を中心として輩出させたいのであります。」
(学園創立者 鈴木修学)

